

外国人観光客倍増に向けた誘客推進

- 新 外国人観光客倍増推進事業 【平成27年度当初予算額 31,750千円】
- 新 外国語サポートデスク設置等モデル事業 【平成27年度当初予算額 2,000千円】

インバウンドを取り巻く環境

- 最近の円安傾向
LCC(格安航空会社)路線の充実
- 東南アジアのビザの緩和
- 免税対象品目の拡大

徳島の政策提言

H26訪日外客数1300万人の大台に

さらに高まる日本への注目度

2020年 10万人

2014年 5万人

- ラグビーワールドカップ2019
- 東京オリンピック・パラリンピック2020
- 関西ワールドマスターズゲームズ2021



2020年までの外国人延べ宿泊者数10万人を目指す！
訪日観光への追い風を取り込む誘客作戦の更なる展開

「訪日外国人2000万人時代」に向けた取り組み

- ①重点市場やMICEへの取り組み強化 11,100千円
香港、台湾等で現地プロモーションを積極的に展開
一般団体旅行に加え、企業の報奨旅行での誘客や国際会議、大規模イベントの誘致
- ②ミラノ万博をはじめとした海外への情報発信 16,400千円
メインテーマである「食」をはじめ、自然や文化など徳島の魅力ある観光資源を情報発信
- ③徳島ならではのニューツーリズムの推進等 4,250千円
教育旅行、医療観光、四国遍路、マチ★アソビなど
- ④外国語サポートデスクの設置 2,000千円
電話等による観光や商談でのコミュニケーション支援等

外国人観光客を増やし「にぎわいひろがる・とくしま」を実現

鳥獣被害防止対策

背景

- 鳥獣被害は依然高い水準
- 加害鳥獣の更なる捕獲
- 捕獲鳥獣の有効活用

26年度の取組

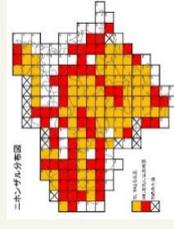
- ・侵入防止柵の整備等
- ・ICTを活用した捕獲檻による捕獲の促進
- ・「うまいよ!シビエ料理店」の認定

課題

- ◇被害を未然に防ぎ、効果的な対策を重点的かつ集中的に実施
- ◇自らが、被害対策や捕獲の担い手となる農林水産業者の育成
- ◇捕獲鳥獣の新たな地域資源としての開発
- ◇「阿波地美栄」の安定供給と販路拡大

地域に侵入させない防護対策

- ・**「鳥獣被害対策強化月間」を新設し、侵入防止柵の集中心検・地域に応じた被害対策の重点的な実施**
- ・**予防的に鳥獣被害対策を実施するモデル集落の育成**
- ・農作物被害や鳥獣の生息状況などをGIS地図で管理する**「目に見える鳥獣被害情報システム」**を構築
- ・県内各河川における**カワウ**生息状況調査、**捕獲・繁殖抑制**の実施、**簡易魚礁によるアユ・ウナギの保護**
- ・再造林時における**獣害対策支援の強化**



【関連事業】 鳥獣被害防止総合対策事業 【145,000千円】
 ⑨ 鳥獣被害予防対策等推進事業 【 9,000千円】
 ⑩ 内水面カワウ対策推進事業 【 1,500千円】
 森林環境保全整備事業 【 5,000千円】
 森林林業受託研究費 【 850千円】

被害対策の担い手確保と捕獲促進

- ・**農・林業者を対象にした捕獲・防護の研修会等の開催**
- ・**効果的なカワウ防除方法の普及のための研修会等の開催**
- ・**鳥獣被害対策の指導体制の充実・強化**
- ・**移動式大型捕獲檻と加害個体捕獲を組合せた効果的なサルの捕獲**



【関連事業】 鳥獣被害防止総合対策事業(再掲) 【145,000千円】
 ⑨ 鳥獣被害予防対策等推進事業(再掲) 【 9,000千円】
 ⑩ 内水面カワウ対策推進事業(再掲) 【 1,500千円】

地域資源としての有効活用

- ・ハラルに対応した**「シカ肉」の供給体制の整備**
- ・ハラル対応**「阿波地美栄」のイメージアップ**
- ・消費者が容易に購入できる流通体制の構築



【関連事業】 ⑨ 「阿波地美栄」等地域資源化促進事業 【5,000千円】

- ・大学等との連携によるシカ肉の熟成方法や新たな加工品の開発
- ・**皮革の利用の促進と未利用資源の利活用**



被害の減少が実感でき、農山漁村の健全なる発展

担当:水産課・経営推進課
 農村振興課・林業戦略課

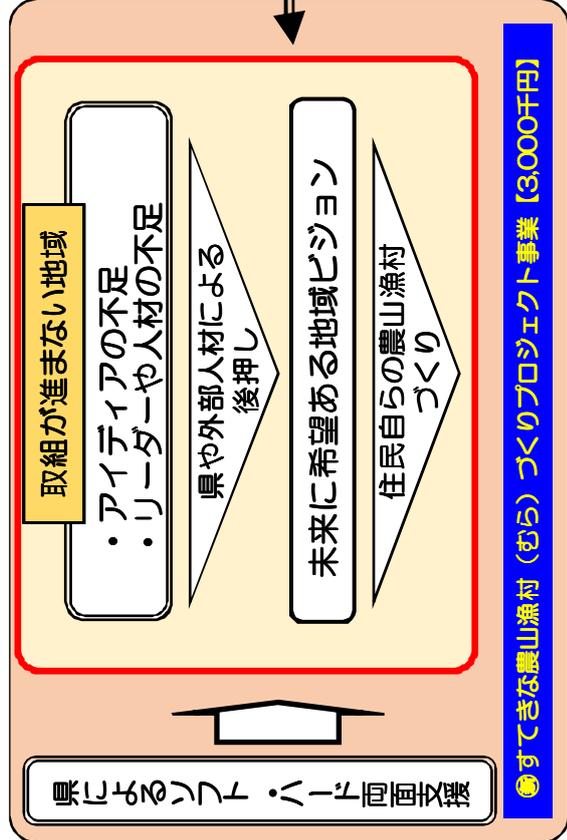
美力ある農山漁村づくり支援

【平成27年度当初予算額 9,500千円】



「田園回帰」の加速化に向けて

地域資源を活用した農山漁村づくり



都市から農山漁村へ人を呼び込む



将来ビジョンの実現



「美力」あふれる農山漁村(むら)

新 クルーズ客船寄港促進事業

【平成27年度当初予算額 4,000千円】

平成27年8月は
4日連続 **豪華客船** が寄港

ダイヤモンド・プリンセス
初寄港決定!!

13日



(赤石地区)

2,670人

12日 飛鳥II



(金磯地区)

872人

14日

ぱふいっくびいなす



(金磯地区)

620人

15日

にっぽん丸



(本港地区)

524人

4日間で

約5,000人!!

I 徳島小松島港保安対策費

安心・安全対策

- 船舶・見学者の安全対策
- 事故防止のための警備強化
- 事前の情報発信・周知徹底
- 近隣地域の渋滞緩和
- 主要道路における警備誘導
- 案内看板の作成・設置
- 救急医療機関との連携
- 客船寄港時の救急患者の円滑な対応

II 大型クルーズ客船入港歓迎事業

徳島ならではのおもてなし

- 入港歓迎式典
- 「阿波おどり」などでのお出迎え
- 地元の子供たちによる歓迎演奏など
- 小松島市、経済団体等との共同催物
- 県内特産品の物販展の開催
- 新鮮で豊かな食材の提供
- みなとオアシスでの交流イベント
- 通信環境の充実
- 岸壁での無料Wi-Fiコーナーの設置

III クルーズ客船誘致事業

寄港地としての魅力発信

- クルーズ客船受入協議会の設置
- 歓迎態勢の充実・強化
- 観光情報等の効果的な発信
- 瀬戸内海の東の玄関港としてのPR
- 船社への寄港地観光PR
- 徳島小松島港ならではのツアー提案
- 船社への支援
- 初寄港及び連泊に対する係船料補助

「国内外のクルーズ客船」の継続寄港！ 1年を通しての寄港回数の増加！ 新たなクルーズ客船の誘致を目指す！

「瀬戸内の東の玄関口」を最大限に活かし、「本県経済の活性化」へ！

担当:運輸政策課

新 県南地域づくりキャンパス事業

【平成27年度当初予算額 2,200千円】

これまでの取組

- 徳島大学、四国大学、徳島文理大学と地域、行政が一体となって推進。
- 平成24、25年度で延べ563名が美波町に来町
 - ・薬王寺における文化財の調査
 - ・観光振興に関するフィールドワーク
 - ・異文化キャラバン隊による地域との交流 等



成果

- ・四国霊場開創1200年記念展示
- ・津波避難路を活用した地域活性化イベントの実施
- ・美波町と四国大学の包括連携協定締結(H26.11.12) 等

- ◆土木や林業、防災分野等で、県南部の特色を活かした実習プログラムを提案

城野工の改善

放流設備の新設



長安ロ・ダム

発電取水口の改善

▲高性能林業機械による伐採



地域がキャンパス推進事業

ゼミ合宿

県南まるごとキャンパス推進事業

平成27年度に向けた新たな連携・取組みの拡大

新 大学COCとの連携

- サテライトオフィスの開設、地域コーディネータの配置による新たな連携
 - ・地域連携事業の企画・実施支援
 - ・地域向けイベントや生涯学習授業、セミナー等の実施
- 地(知)の拠点大学による地方創生事業との連携



南部地区SSO開所式

新 大学のコンソーシアム

- 課題解決のための大学の連携
 - ・町並み再生をテーマとした観光振興に関する研究
 - ・農村舞台や地域の食を核とした地域振興策の検討
 - ・地元産品の6次産業化及び販売促進に関する調査 等



新 県外大学の誘致(予定)

- 一次産業の実習体験、交流促進

- 那賀町：京都大学
- 海陽町：明治大学
- 牟岐町：東京海洋大学
- 阿南市：大阪大学
- 美波町：神奈川大学



定置網体験

農業体験実習

牟岐町：Tokushima英語村 ⇒⇒⇒ ひとつむぎ

若者の視点導入・交流拡大、移住定住促進



「地方創生」・「持続可能な地域づくり」

新 地域の宝「剣山」次世代継承事業

【目的】

【平成27年度当初予算額 1,700千円】

剣山国定公園の新たな50年に向け、「自然保護」「安全確保」「魅力発信」を積極的に展開

【事業概要】

1 自然保護や安全確保に向けた地域連携体制の強化

◆「剣山国定公園地域連携協議会」活動の充実

- 「自然保護」・「安全確保」・「魅力発信」についての情報共有と連携強化
- 喫緊の課題解決を図るため、自然保護団体や地域自治体などの連携による部会活動を展開



2 安全確保と環境保全に向けた取り組み

◆登山道の安全確保

- 「剣山サポータークラブ」の協力によるメインルートの切れ目ない点検と補修



◆「登山マナーアップキャンペーン」の実施

- 山のトイレマナーなど、環境負荷軽減に向けた啓発活動を実施

あわエコトイレ新設！

3 新たな「剣山ファン」拡大に向けた人材育成

◆「ジュニア・ネイチャージャー」の養成

- 小学生など次世代を担う人材を育成するための親子による自然保護体験の実施



◆「女性サポーター」の養成

- 女性の視点を活かした自然保護活動や魅力発信の担い手の拡大



◆「若者サポーター」の養成

- ニホンジカ食害対策をはじめとしたフィールドワークによる若い世代の自然保護活動の担い手の育成



4 新たな50年に向けた「剣山」の更なる魅力発信

「山の日」制定(H28.8.11)プレ・イヤータップ上ヒュッテ開設60周年



◆「山の日」制定等を契機とした剣山イベントの情報発信

- 地域事業者が実施する様々なイベントを、「剣山山頂ラジオスタジオ」など発信力の高いメディアと連携して、県内外へ効果的に情報発信



「日本一安全・安心な山！ 剣山」をめざす

新にし阿波観光危機管理能力向上事業

【平成27年度当初予算額 1,500千円】

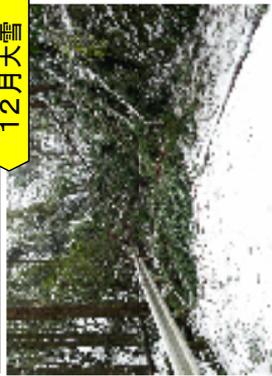
現状と課題

平成26年度は、「にし阿波」地域に大きな災害が相次いで発生

8月豪雨



12月大雪



観光客の不安・誤解

- ・観光客に対し正確な情報を伝える仕組みが不足
- ・「観光地に行けないのでは」という不安や誤解が発生

二次被害

観光施設の利用者減少
宿泊のキャンセル発生

平成26年度

災害に強い
観光地域づくり

観光危機管理検討会

- 行政、観光関係団体等で構成
- 宿泊施設、観光施設等にアンケート調査、結果分析
- 外部有識者を交え課題検討
- 既存の観光圏ホームページで、道路通行止め情報等を掲載
- 危機管理情報配信システム(仮称)

平成27年度

災害時の
情報発信

にし阿波観光BCP

- 発災時のマニュアルを策定
〔 情報連絡体制、安否確認、案内誘導、安全対策等 〕
- BCP策定以降も定期的に見直し

危機管理情報配信システム(仮称)

- 観光圏整備事業で作成予定のワンストップの観光情報提供サイトで、危機管理情報を提供するシステムを構築
- ・観光施設、宿泊施設等の営業情報
- ・道路通行止め(解除)情報、ルート案内

観光危機管理シンポジウム

- 関係者間の共通認識確立、意識醸成
- 宿泊施設、観光施設等事業者に対し、BCP策定を推進

行政、観光施設等が情報を入力し
県外からの観光客等に**正確な情報**を
分かりやすく迅速に提供

観光危機管理能力向上

安心できる観光地域としてブランドイメージ向上

子供たちの豊かな教育環境づくり

学校を核とした地域教育力の強化

放課後子供教室推進事業

【平成27年度当初予算額 42,873千円】

放課後の子供の安心・安全な居場所を確保し、地域の方々の参画を得て、多様な学びや体験活動を推進

- ・学習支援(宿題指導, 予習・復習, 補充学習等)
- ・多様な体験プログラム(実験・工作活動, 英語活動, 文化・芸術活動等)
- ・スポーツ活動(テニス, 一輪車等) など

放課後等の支援充実策として、H31年度末までに全小学校区での整備と、放課後児童クラブとの一体型、連携型の実施を推進



地域ぐるみの学校支援事業

【平成27年度当初予算額 3,603千円】

中学校区を中心に、地域ボランティアによる学校教育活動の支援(学校支援地域本部)

- ・クラブ活動指導
- ・校内環境(花壇・校庭・図書室)整備
- ・登下校安全指導
- ・学習支援(家庭科実習, 地域学習, 書道, 英語など)

新【地域未来塾】

家庭での学習が困難または学習習慣が十分身につけていない中学生等に対する学習支援 [H27新規 3箇所]



新 週末等の教育支援体制構築事業

【平成27年度当初予算額 1,910千円】

週末等を有意義に過ごすための学びの場、体験の場を提供

- ・企業や大学職員, 教員OBなどによる講座, 実験教室
- ・在外経験者による英語教室
- ・学校施設, 公民館, 図書館, 科学センター, スポーツセンターを利用

[週末や長期休業中の年10回程度]



外国人

地域人材・保護者

NPO

コーディネーター・地域支援員・ボランティア

企業人・大学生

県立総合高等学校・シルバード大学校卒業生

地域コミュニティの活性化



安全・安心の文化施設モデル事業

- ◆ わかりやすい案内板、展示解説パネル
障がい者や高齢者、外国人等異なる特性の人にも
わかりやすい表示・サインに改修
- ◆ 展示解説の多言語化
Wi-Fiによる展示解説の多言語化
(英語、繁体語、簡体語、ハンダ語)
- ◆ 安全安心のための耐震対策
ガラス飛散防止フィルムへの貼付、収蔵庫の耐震化等

ユニバーサル環境の推進 安全安心の推進

来館者と県民の財産の安全

利用者の目線に立った施設



民間とのコラボによる新たな運営事業

- ◆ 徳島新聞社とのコラボ事業
「東京富士美術館所蔵展 美の饗宴西洋美術の300年」
バロック、ロココから印象派、エコール・ド・パリまで
アンソニー・ヴァン・ダイク、モネ、ルノアール、シャガール等
- ◆ マチ★アソビとのコラボ事業
「ufotable展」「野外ライブ」「コスプレ撮影会」

民間の視点を取り入れた多様な文化の発信 よりスケールの大きな企画展の実現

新しい文化との出会い

交流人口の増加



担当：文化の森振興本部

いすれも © 東京富士美術館/イメージ/BNPinc.com

企業局森づくり支援事業

【平成27年度当初予算額 30,000千円】

現 状

- 本県は8割を超える森林が「私有林」
- 「森林所有者の高齢化」や「木材価格の長期低迷」による所有者の経営意欲の減退
- 管理放置により森林が有する保水能力が低下

目 的

- 水源かん養機能による河川流況の安定
- 土砂流出防止によるダム堆砂・濁水の抑制
- 二酸化炭素吸収機能の向上
- 間伐等森林施業による雇用の確保



取 組 方 針

- 「とくしま豊かな森づくり支援事業」(農林水産部)と連携し「とくしま公有林拡大戦略」を推進

これまでの実績・数値目標

- ・H22 企業局水源の森整備 11ha
- ・H23 水源地域環境整備事業 5ha

《地元自治体の公有林化支援》 ● 企業局森づくり支援事業

H24～25年度 218ha
H26年度(予定) 95ha

更なる公有林化へ目標を設定

H28年度まで 225ha  450ha



平成27年度の取組み 30,000千円

● 県営発電所・ダム所在の町を支援

➢ 公有林化取得支援費

森林の購入を支援

➢ 地域振興事業費

将来にわたる山林の適正な維持管理を支援

➢ 多様な森づくり支援費

作業道の整備、除間伐、広葉樹林化のための植栽、鳥獣害対策等を支援



川口ダム自然エネルギーミュージアム整備事業(赤松ダム支水路小水力発電設備設置)

自然エネルギー学習の場を創設

整備方針

- 小水力、小型風力、太陽光等の自然エネルギーを1箇所で見学できるように**整備**
- 施設見学会や自然エネルギー探検隊事業で活用し「**自然エネルギー立県とくしま推進戦略**」に貢献
- 科学への関心を高め、次代の技術者育成に寄与

平成27年度の取組み

小水力発電設備設置 26,620千円

- 落差や水量等に合わせて**最適な水車形式**を選定
- 縦型2軸クロスフロー水車** 最大出力約1kW



【平成27年度当初予算額 26,620千円】



水車ランナ実物展示

- 川口発電所 カプラン水車
- 日野谷発電所 フランシス水車



啓発施設の整備

- ・ダム周辺に、案内・説明パネルを設置
- ・管理所1F研修室を、環境学習室に改修
- ・体験できる遊具等を配置



完成にあわせて関係部局と連携し**利用メニュー**を整備

担当: 電力課